

	授業	研究	課外活動	行事・イベント	勤務	会議	付属施設	学生入構	キャンパス
レベル1	通常（ただし、「新たな生活様式」に基づく行動）								
レベル2	オンライン授業も活用しながら、3密を回避した上で、対面授業を実施することができる。	3密を回避した上で、研究活動を行うことができる。	3密を回避した上で、一部の活動を実施することができる。	3密を回避した上で、一部実施することができる。	時差出勤やテレワークなどを積極的に活用することとし、外出・出張もなるべくオンラインを活用する。	対面会議のみならず、オンライン会議も積極的に活用する。	3密を回避した上で、一部施設の利用、活動を実施することができる。	学内での3密回避を前提に入構することができる。	3密回避を前提として総持寺キャンパスおよび安威キャンパスを利用できる。
レベル3	オンライン授業を原則としつつ、水際4要件*及び徹底的な3密を回避した上で、実験・実習等の一部の授業を実施することができる。	水際4要件*及び徹底的な3密を回避した上で、教員・研究員・大学院生は研究活動を行うことができるが、大学での滞在時間は最小限とし、自宅での研究を行う検討を行うものとする。	水際4要件*及び徹底的な3密を回避した上で、一部の活動を実施することができる。ただし、合宿やバス遠征は禁止とする。	学内外を問わず原則として中止ないしは延期とする。	時差出勤やテレワークなどを積極的に活用することとし、不要不急の外出・出張を避ける。	対面は最小限度とし、オンライン会議を積極的に活用する。	水際4要件*及び徹底的な3密を回避した上で、一部施設の利用、活動を実施することができる。	原則として入構禁止とするが、授業に参加するなど、一部の許可された学生のみ水際4要件*を満たした上で入構できる。ただし、滞在は最小限度とする。	水際4要件*を担保できる総持寺キャンパスのみの運用とし、安威キャンパスは原則閉鎖とする。
レベル4	原則としてオンライン授業とする。実習・実験科目は文部科学省の基準のもとで代替措置を講ずる。	サーバや実験用生物の管理など、研究機能の最低限の維持に限り立ち入りが可能。	学内外を問わず全面禁止とする。ただし、オンラインを活用した活動は実施できる。	学内外を問わず全面中止ないしは延期とする。	原則テレワークによる勤務とする。ただし、組織機能を維持するための出勤は可能とする（出張禁止）。	原則としてオンライン会議とする	原則として、全面閉鎖し、立ち入り禁止とする。	キャンパスを閉鎖し、原則として入構禁止とする。	原則として、全面閉鎖とする。
レベル5	完全オンライン授業とする。実習・実験科目は文部科学省の基準のもとで代替措置を講ずる。	サーバや実験用生物の管理など、研究機能の最低限の維持に限り、専任教員のみの一時的な立ち入りが可能。	学内外を問わず全面禁止とする。ただし、オンラインを活用した活動は実施できる。	学内外を問わず全面中止ないしは延期とする。	テレワークによる勤務とする。ただし、組織機能を維持するため最少人数の出勤は可能とする（出張禁止）。	完全オンライン会議のみ実施	全面閉鎖し、立ち入り禁止とする。	キャンパスを閉鎖し、入構禁止とする。	全面閉鎖とする。

※水際対策の徹底（水際4要件）とは、

原則として、下記症状のいずれかが認められる場合は、出勤・出席を認めないものとする。

- ① 発熱（37.5℃以上）がある場合 ② 咳や鼻水、頭や喉の痛みなどといった風邪症状がある場合 ③ 息苦しさ（呼吸困難）が続く場合 ④ 強い倦怠感や味覚障害・嗅覚障害がある場合